

文部科学省実績評価書－平成19年度実績－(概要)

1. 趣旨

「文部科学省の使命と政策目標」の実現に向けて文部科学省が平成19年度に取り組んだ施策について実績評価を実施。6月上～中旬に「政策評価官房ヒアリング」を実施。

2. 実績評価書の主な内容

13政策目標及び47施策目標(161達成目標)ごとに以下を記載

- ・評価の判断基準
- ・平成19年度の状況、指標、参考指標
- ・施策目標について、必要性・有効性・効率性分析
- ・評価結果(SABCの4段階)
- ・20年度以降の政策への反映方針、今後の課題及び政策への反映方針
- ・施策目標について、関連する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)
- ・達成目標について、主な政策手段

3. 主な改善点

○評価の判断基準の一層の明確化、施策の成果を定量的に把握するための指標を充実

4. 評価結果

13政策目標のうち、S評価が2件、A評価が10件、B評価が1件

評価の判断基準の一層の明確化、施策の成果を定量的に把握するための指標を充実

政策効果に着目した判断基準に改善した例①

○昨年度(実績評価書—平成18年度実績—)

達成目標2-3-1
児童生徒が専門的な教育相談を受けることができる体制を整備する。

判断基準1
平成18年度のスクールカウンセラー配置予定校数(10、163校)を100%とした配置状況

専ら事業のアウトプットを捉える判断基準になっていた

達成目標2-3-2
学校・家庭・関係機関が連携した地域における不登校児童生徒に対するサポートシステムを整備する。

判断基準1
平成18年度のスクーリング・サポート・ネットワーク(SSN)整備事業における指定地域数(450)を100%とした地域スクーリング・サポート・ネットワーク(SSN)整備状況

○本年度(実績評価書—平成19年度実績—)

達成目標2-3-1
いじめや暴力行為、不登校など児童生徒の問題行動等に適切に対応するため、学校内外における相談体制の整備を進めるとともに、関係機関等と連携した取組を進める。

判断基準2
いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合

判断基準3
いじめの認知件数に占める、いじめられた児童生徒が誰にも相談していない件数の割合

判断基準4
学校におけるいじめの問題に対する日常の取組のうち、地域の関係機関と連携協力した対応を図った学校数の割合

判断基準5
不登校児童生徒数に占める、指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒の割合

より政策のアウトカムに着目した判断基準に改善

政策効果に着目した判断基準に改善した例②

○昨年度(実績評価書—平成18年度実績—)

達成目標3-4-1

私立大学等における教育又は研究に係る経常的経費に対する補助金の割合を高めるため、経常費補助等のより一層の充実を図る。

判断基準1

私立大学及び私立高等専門学校の経常費助成予算額の対前年度比

インプットを捉える判断基準になっていた

判断基準2

私立大学及び私立高等専門学校の経常的経費に対する経常費補助割合の対前年度比(確認できうる最新の数値)

判断基準3

私立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園の経常費助成予算額の対前年度比

判断基準4

私立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園の経常的経費に対する経常費補助割合の対前年度比(確認できうる最新の数値)

○本年度(実績評価書—平成19年度実績—)

達成目標6-1-1

質の高い教育研究のため、私立学校の教育研究条件の維持向上を図る。

判断基準1

教員一人あたりの学生数

私立学校の教育研究環境の状況を表す判断基準に改善

判断基準2

大学及び短期大学の定員超過率が150%を超えるものの全体に占める割合

判断基準3

教育研究経費依存比率(学生納付金収入に対する教育研究経費支出の割合)

判断基準4

私立大学の図書館の蔵書数

達成目標を専らインプットに着目した目標設定から、
より政策のアウトカムに着目した目標に改善するとともに、
判断基準も達成目標そのものの進捗度・達成度を把握するものに改善